

みんなの

バイオDXセミナー

～社会課題解決に向けたイノベーション創出～



坊農 秀雅

広島大学 大学院統合生命科学研究科 ゲノム情報科学研究室
広島大学 ゲノム編集イノベーションセンター
バイオDX研究室



奥原 啓輔

プラチナバイオ株式会社 代表取締役CEO
広島大学ゲノム編集イノベーションセンター
客員教授
(バイオDX産学共創拠点 副プロジェクトリーダー)

2023.5.22 MON

15:00-16:30

／ひさしぶり！／

オンライン & 現地開催

(現地のみ定員15名)

場所：とっとりバイオフロンティア1階研修室
(米子市西町86 鳥大米子キャンパス内)

主催：公益財団法人鳥取県産業振興機構 バイオフロンティア推進室

共催：COI-NEXT 「バイオDX産学共創拠点」

みんなの
バイオDXセミナー
～社会課題解決に向けたイノベーション創出～

2023.5.22 MON
15:00-16:30

オンライン&現地開催
(現地のみ定員15名)

講演タイトル

坊農 秀雅：バイオDXによるデータ駆動型生命科学研究

生命科学分野においては「バイオインフォマティクス」という言葉に代表されるように、情報科学分野の技術が古くから応用されてきた。また、デジタルトランスフォーメーション(DX)の広がりによって、生命科学分野では「バイオ」と「DX」を掛け合わせた「バイオDX」というキーワードが生まれてきた。「バイオDX」は、実験操作の自動化にとどまらず、ビッグデータや人工知能(AI)の生命科学分野への利用技術開発など、多方面に向けて進められている。しかしながら、汎用に作られたそれらの技術を生命科学データに単に適用するだけではうまくいかず、それぞれの分野の知識(ドメイン知識)を活かして活用するかがキーポイントとなっている。その取り組み事例として、ゲノム編集データ解析基盤技術開発にそれらを利活用しようとしている演者らの広島大学ゲノム編集イノベーションセンターでの取り組みについて紹介する。

奥原 啓輔：ゲノム編集とバイオDXでミライを拓く

食料問題の解決、新型感染症への対策、バイオ由来の再生可能エネルギーの実用化など、人類が直面する様々な社会課題に対して、ゲノム編集が革新的なソリューションになると期待されている。ゲノム編集のターゲットを選定するためには、その対象となる生物のゲノム解読と解析により遺伝子機能を解明することが必須となる。


広島大学では、生物の“プログラミング(ゲノム編集・合成)”と“デジタル化(遺伝情報の解読・解析)”による研究開発から、生物のもつ機能を最大限に引き出す「Bio-Digital Transformation(バイオDX)」のコンセプトを提唱し、JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)においてオールジャパン体制の産学共創拠点を構築・運営している。本講演では「バイオDX産学共創拠点」の取組みに加え、大学の研究成果の社会実装を担う広島大学発スタートアップ「プラチナバイオ株式会社」について紹介する。

申込方法 (事前申込制)

申込フォームはこちら <http://urx.mobi/vNF8>

開催日前日の正午までにお申し込みください。接続方法を後日Eメールアドレス宛に連絡します。
申込数によっては参加人数を制限する場合があります。参加希望がかなわない場合はご容赦ください。



セミナー詳細は とっとりバイオフィロンティア  で検索!

連絡先 公益財団法人鳥取県産業振興機構バイオフィロンティア推進室 (担当: 森山)
〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地 TEL: 0859-37-5131 MAIL: tbf@toriton.or.jp